

ドミニカ共和国

主要データ

国名〔英名〕	ドミニカ共和国〔Dominican Republic〕
面積(km ²)	48,670
海岸線延長(km)	1,288
人口(百万人)	10.3
人口密度(人/km ²)	212.7
GDP(十億US\$)	60.77
一人当りGDP(US\$)	5,834.40
主要鉱産物：鉱石	ニッケル
主要鉱産物：地金	ニッケル
鉱業管轄官庁	エネルギー鉱山省〔Secretario de Energía y Minas〕 鉱山総局〔Dirección General de Minería〕
鉱業関連政府機関	Servicio Geologico Nacional (SGN)
鉱業法	鉱業法(La Ley Minera No. 146) 探鉱権3年(1回に限り2年の延長が可能)、30,000ha以下 採掘権75年、20,000ha以下
ロイヤルティ	鉱業法第119条～第121条 ドミニカ港でのFOB価格の5%
外資法	外国投資法(Ley de Inversión Extranjera No. 16) 外資100%の参入が可能
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境及び天然資源一般法(Ley General sobre Medio Ambiente y Recursos Naturales No. 64) 環境影響評価を環境天然資源省に提出し、承認を受ける義務有り
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	加 Barric Gold 社、加 Goldcorp 社、Glencore 社等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	・Falcondo ニッケル鉱山拡張計画内に位置する地域を国立公園に指定する法案審議
2013年のトピックス	・5月、国連開発計画(UNDP)がFalcondo ニッケル鉱山拡張計画に係る環境影響評価報告書が不完全と評価 ・7月、エネルギー鉱山省創設関連法案が議会で可決、成立、翌8月、Danilo Medina 大統領が公布

1. 鉱業一般概況

ドミニカ共和国における鉱業の歴史は浅いが、近年、欧州連合(EU)の政府開発援助(ODA)により地質図が整備され、カナダ企業が主体となって探鉱活動が活発に行われてきている。

こうした中、かねてより鉱業界から問題が指摘され、改善を要求されてきた許認可等に要する期間の短縮に関し、政府は、関係当局の一元化を図るべく新たにエネルギー鉱山省を創設することで対応する等、鉱業の開発、発展に一定程度の理解を示す政策を展開している。

一方、同国では、鉱業開発において、政府が国連開発計画(UNDP)に環境影響評価報告書の妥当性の調査を依頼するにまで発展する等環境問題への対応が鉱業企業にとって最大のテーマとなっている。

特に直近で大きな問題となっているのは、同国最大のニッケル生産量を誇る Falcondo ニッケル鉱山の拡張計画である。2012年7月に同鉱山を保有する Xstrata(2013年に Glencore と合併)が、同鉱山の拡張計画として現採掘地域の北西部にあたる Loma Miranda 地区の開発を発表すると、周辺地域の環境保護団体(NGO)が近隣にある主要河川に深刻な影響を与えるとの理由により、同鉱山の活動停止を求める抗議活動を開始、訴訟を起こしたところ、同年9月に地方裁判所が訴えを認め、同地域における鉱業活動を一切禁止する裁定を下した。一方、同社は高等裁判所へ上告するとともに政府に対し仲介を求めたところ、政府は同社が作成した環境影響評価報告書の妥当性を求めるため同年10月に UNDP に調査を依頼、2013年1月から UNDP による調査が開始され、その結果、5月に UNDP は同報告書が不完全である旨の評価を下した。その後、10月に同国議会下院が UNDP の評価結果や国立科学アカデミーの勧告を踏まえ、同鉱山の拡張計画に位置する地域を国立公園に指定することを承認、2014年8月には上院も承認した。本件に関しては、9月に Danilo Medina 大統領が議会へ差し戻し、引き続き審議が行われており、今後の行方が注目されている。

2. 鉱業政策の主な動き

従前、探鉱・採掘許可等に関しては商工省の鉱山総局、地質図の作成等に関しては経済・企画・開発省の国家地質センター(SGM)がそれぞれ所管していたが、関係当局が複数に及ぶことによる許認可等の遅延が大きな問題となっていた。こうした状況を踏まえ、2013年2月に Danilo Medina 大統領は、天然資源に関する政策立案と施策実行を一元化することにより効率化を図り、許認可等の迅速化を目指すため、新たにエネルギー鉱山省を創設し鉱山総局及び SGM を傘下とする法案を議会へ提出した。同法案は7月に議会にて可決、成立し、翌8月に同大統領が公布、2014年4月に同大統領がエネルギー鉱山大臣と副大臣6名を任命した。

一方、1971年制定以降、抜本的な改正が行われていない鉱業法に関しては、2008年に抜本的な見直しを行うべく検討が進められたが、議会へは提出されず現在に至っている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ニッケル(千t)	13.5	15.2	9.4	-38.1	0.4	19
金(千t)	0.00	0.00	0.03	491.5	1.0	22

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2014)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ニッケル(千t)	13.5	15.2	9.4	-38.1	0.5	21

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2014)

(3) 主要金属地金消費量

データなし

(4) 主要金属輸出入

表 3-3. 精鉱・地金等輸出入量(マテリアル量)

鉱種	2011年	2012年	2013年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
----	-------	-------	-------	-----------	---------

世界の鉱業の趨勢 2014

フェロニッケル(千 t)	32.4	27.0	n/a	—
鉛地金(千 t)	0.0	3.2	n/a	—

(出典 : Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-4. 精鉱・地金等輸入量(マテリアル量)

鉱種	2011 年	2012 年	2013 年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
アルミニウム地金(t)	2.5	0.0	n/a	—	
鉛地金(t)	0.1	0.2	n/a	—	
亜鉛地金(千 t)	2.2	0.0	n/a	—	

(出典 : Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種	生産量			備考
			2011 年	2012 年	2013 年	
Falcondo	Glencore (90)、ドミニカ共和国政府 (10)	ニッケル(千 t)	13.5	15.2	9.4	従前の権益所有企業である Xstrata が 2013 年に Glencore と合併 2013 年 10 月に鉱山一時閉鎖を発表
Cerro de Maimon	豪 Perylya 社 (100)	銅(千 t)	11.7	11.5	n/a	
		金(t)	0.49	0.43	n/a	
		銀(t)	18.3	10.7	n/a	
Las Lagunas	豪 PanTerra Gold 社 (100)	金(t)	—	0.22	0.74	2012 年 5 月に操業開始
		銀(t)	—	2.3	6.8	
Pueblo Viejo	加 Barrick Gold 社 (60)、加 Goldcorp 社 (40)	金(t)	—	2.1	15.2	2012 年に操業開始、2013 年 1 月に本格的な商業生産へ移行
		銀(t)	—	n/a	n/a	

(出典 : 各社 Anual Report、HP)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬・精錬所名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種・形態	生産量			備考
			2011 年	2012 年	2013 年	
Bonao	Glencore (90)、ドミニカ共和国政府 (10)	フェロニッケル(千 t)	n/a	n/a	n/a	従前の権益所有企業である Xstrata が 2013 年に Glencore と合併

(出典 : Glencore HP)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

5. 探鉱状況

カナダ企業を主体に探鉱プロジェクトが進められている。主な探鉱プロジェクトは表 5-1. のとおり。

表 5-1. 主要探鉱プロジェクト

プロジェクト名	権益保有会社(権益:%)	鉱種	備考
Cuance and Los Hojanchos	豪 Perilya 社(50)、加 Everton Resources 社(50)	銅、金	
Bayaguana	豪 Perilya 社(100)	銅、金、銀	
Cumpié Hill	豪 Perilya 社(100)	ニッケル	
Nieta	加 Unigold 社(100)	金	初期投資総額：10~30 百 US\$ 予測資源量：39 百万 t (Au 1.59g/t)
La Cueva	加 Everton Resources 社(65)、加 Linear Gold 社(35)	金、銀、銅、亜鉛	
Loma Hueca	加 Everton Resources 社(100)	金	
Jobo Claro	加 Everton Resources 社(100)	金、銅	
Pun/Ponton	加 Everton Resources 社(100)	銅、金	
Ampliacion Pueblo Viejo	加 Everton Resources 社(50) 加 Linear Gold 社(50)	金、銀	
Romero	加 GoldQuest Mining 社(100)	金、銅、亜鉛、銀	初期投資総額：334 百万 US\$ 概測資源量：19.4 百万 t (Au 2.63g/t、Ag

			3.7g/t、Cu 0.63%、Zn 0.29%) 予測資源量：10 百万 t (Au 1.64g/t、Ag 3.8g/t、Cu 0.36%、Zn 0.42%) 鉱山寿命：15 年 Romero South と一体で 1 つのプロジェクトとして見なされている
Tireo	加 GoldQuest Mining 社 (100)	金、銅	
Las Animas	加 GoldQuest Mining 社 (100)	銅、金、銀、亜鉛	概測資源量：1 百万 t (Au 2.81g/t、Ag 49.58g/t、Cu 2.4%、Zn 2.57%) 予測資源量：439 千 t (Au 1.68g/t、Ag 36.91g/t、Cu 2.6%、Zn 4.67%)
Juan de Herrera	加 Precipitate Gold 社 (100)	金、銀	

(出典：各社 Annual Report、HP)

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

2008 年におけるドミニカ共和国から日本へのフェロニッケルの輸出量は 3.2 千 t と日本の輸入量の 12.5% を占めていたが、Bonaó 鉱山・製錬所の操業停止の影響により減少し、2010 年には 0 となった。一方、2011 年に同鉱山・製錬所の生産が再開したものの、50% 生産体制までの回復が 2011 年半ば、100% 生産体制までの回復が 2012 年 2 月までかかったことにより、日本への輸出量は以降伸び悩んでいる。

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2011 年	2012 年	2013 年	対前年増減比 (%)
フェロニッケル (千 t)	1.3	1.5	1.8	20.2

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2014. 10. 20 メキシコ事務所 縄田俊之)